

令和3年9月8日

## 令和3年度 障害者週間シンポジウム企画案（変更）

障害者週間実行委員（生涯発達支援部会） 小幡美穂  
（社会参加・就労支援部会） 佐藤宮子

日頃より、お世話になっております。6月の全体会で、今年度の障害者週間シンポジウム企画を提示し、承認いただいたところではありますが、講師依頼中の須釜直美さんより、①講演形式よりも、対談形式で話を深めたい、②当日の体調に不安がある、とご相談がありました。講師の方のご事情を鑑みて、下記のように企画内容を変更したいと思います。ご検討、よろしくお願いたします。

## 記

- 検討事項： 1. 講師と自立支援協議会委員の対談形式は可能かどうか。  
2. 講師の体調への配慮として、事前に講話を録画、当日放映するのはどうか。

テーマ「“障害のある人もない人も共に学び共に生きる社会を目指す小金井市条例”

制定3年を迎えて 共に学び共に生きる社会を考える」

日時 令和3年12月4日（土）午前9時～午後1時（セッティング、片づけを含む）

企画内容 ◎プログラム

① 自立支援協議会より、条例の見直しについての報告（45分）

② 講師による講話（60分）

須釜直美さんと自立支援協議会委員との対談

\*障害者が地域で生活することをテーマに、委員による質問形式で対談する。

\*委員は1～2人を想定

◎タイムスケジュール案

9:00～ セッティング

10:00～10:15 市長、実行委員長の挨拶

10:15～11:00 ①自立支援協議会より報告 45分

11:00～12:00 ②講師による講話（対話形式）60分質疑応答含む

12:00～12:30 片付け

◎講師の体調への配慮

事前に対談の様子を録画し、当日放映する。

☆当日のweb中継も検討したが、Wi-Fi環境が不安定なため断念。

その他 上記の対応で、須釜さんがNOだった場合は、他の講師をあたることとなります。

第4候補の松波さんは、大阪在住であることから、交通費が出せない関係で、同じく対談を録画だった場合、依頼可能。また、録画による放映という前提であれば、熊谷先生・海老原さんに再アタックすることは可能。

以上